

## 会 議 概 要

●開催概要	
名 称	新バスシステムに関する説明会（白山校区コミュニティ協議会）
日 時	平成 25 年 8 月 23 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時
場 所	市役所本庁舎本館 3階 対策室 2
説明者	新潟市都市政策部新交通推進課、都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	20 名
●会議内容	
<p>(1) 市民説明会（1 巡目）開催結果の報告（新潟市）</p> <p>(2) BRT 運行計画（案）（BRT 当初導入時点）について（新潟市）</p> <p>(3) BRT 当初導入時点のバス路線再編計画（案）について（新潟交通株式会社）</p> <p>(4) 前回説明会での意見に対する回答について</p> <p>(5) 質疑応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言</p> <p>★発言者 1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始終点を市役所に変更するという事で、市役所周辺に 5 つほどバス停があるが、バスをターミナルで止めて、どこに待機させるのか。バスを持って来てはすぐ出る、持ってきてはすぐ出るというようにはいかないはず。市役所が始終点ということで、かなり渋滞するのではないかと思うが、この辺はどのように考えているのか。</li> </ul> <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所始終点という路線が多くなるが、運行本数は各路線とも相当増やすということで、資料 2-2 のように計画している。今までは駅までそのまま走っており、かなりバスが併走していた。そこで走っていた余力を、ほかの路線の運行本数増に結びつけることを考えており、ダイヤ上は市役所周辺にバスが停まりっぱなしということではなく、また次の便に向けて走るということを考えている。</li> </ul> <p>★発言者 1（男性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今でも、帝石ビルのあたりの駐停車禁止のところいつまでもバスが停車しており、邪魔になっている感じがある。これが、朝晩のラッシュ時において迷惑になるように思う。今言ったように、来てすぐというように言っても、ここに 3、4 分間隔とか、今は季節的には都合がいいが、雪が降って遅れて来ても、一般車が渋滞にならないような計画になっているのか。それとも、車庫を設け、そこから出発時間の前に出て来るのか。車庫がないような状態で始終点を市役所に変更することになっているが、その辺はおかしいと思う。</li> </ul> <p>●新潟交通株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新潟駅から青山間において、今現在、各方面からバスが新潟市内に全て入り込み、団子状態で走っている。停車についてもかなりの台数が入り込んでいるため、ご迷惑をおかけしている点もあろうかと思う。ただ、今後は、中心部のバスの台数自体は全体として減るという形になってくるため、そのあた</li> </ul>	

りは解消されるのではないかと考えている。また、市役所を始終点にし、またそのまますぐ次の便という話もしたが、ダイヤ上、少し時間が空くものについては、市内に何ヶ所か営業所や車庫があるので、そこに入庫し、時間になったら出て来るという形で考えている。極力自家用車や市民の皆様に支障のないような形でダイヤ編成をしていきたい。

★発言者2（男性）

- ・現在、白山地区の人たちが駅からバスを利用して家に帰るとき、駅から榎谷小路を通ってくる線、八千代橋を渡って鍛冶小路を通ってくる線、昭和大橋を渡って入船町行きの路線の3つがある。今回の案を見ると、駅から白山地区に戻ってくるものが榎谷小路の路線と、八千代橋などを回るということで、白山地区の中心地に入ってくる路線が一つもない。校区の外郭しかバスが通っていないということになる。今まで3本あったものがほとんどなくなる。それではこの地区の人たちは困ると思う。外側しかバス路線がない。真ん中の人たちがバスに乗るのは大変。市役所へ行くか榎谷小路へ出て行くか川端町へ行くしかない。
- ・川端町は今までバスが通っていなかったが、道幅が狭い。20分間隔で往復の新潟大学病院行きのバスを通すということだが、道路が混雑する危険性が高まるし、この道路は通学路にもなっている。さらに、ほかの路線もそこを通すというような話があった。それによって、道路の交通状態が非常に混雑してくることが考えられるので、そこは十分検討して欲しい。この案では、白山校区の地域としては受け入れられない。再検討してもらいたい。

●新潟交通株式会社

- ・具体的な路線案については、2巡目の説明会ということで、初めて出させていただいた。ご質問2点については、お預かりさせていただき、検討していきたい。

★発言者3（男性）

- ・資料2-1の中-2の附船町線だが、新潟駅に行くには富有社の前から乗って八千代橋を渡って新潟駅へ行く。帰りは新潟駅で乗ってバスセンターを回って八千代橋を進む。それが全然なくなる。足がなくなる。古町に出るしかなくなり、今より不便になる。これは地域の人を集めて話をさせていただきたい。

●新潟交通株式会社

- ・承知した。

★発言者4（女性）

- ・高校生や大学生など、西方面に行く場合は、全て青山で乗り換えることになるのか。新潟大学や清心女子高校などが西方面にあるが、朝の通学などがとても大変になって、利便性があるとは感じられない。全員のことを考えているとは感じられなかったなので、その辺を考えていただきたい。

●新潟交通株式会社

- ・西小針線、新潟大学西門方面、内野営業所行き、有明線などが、西方面を結んでいるメイン路線。これらは、BRT導入当初は、現行どおりということで予定している。新潟駅から新潟大学もしくは内野営業所方面への直通運行を予定している。

★発言者5（女性）

- ・附船町線の本町から利用しているが、あそこも随分乗り降りが多い。今までは駅から乗ったら乗り換えなしで下町の方まで行けた。附船町線の利用客などはどの程度把握しているのか。下町に行くにも市役所まで行って乗り換えということになり、不便を感じる。
- ・新潟大学への路線は今までどおりとすると、中央高校、新潟高校、商業高校、新潟大学の生徒たちは今までの線に乗る。はたして駅からBRTにどのくらいの人たちが乗るのか。新潟駅で降りてBRTに乗るのは新潟高校、中央高校、商業高校、新潟大学などの高校生、大学生が多いと思っていた。それが全部抜けるとすると、はたして3分おき、4分おきにそれだけの人が本当に乗るのか。きちんと調べているのか。

●新潟交通株式会社

- ・附船町線の利用者をどの程度把握しているかは、今日、手元にデータがなく、今すぐ数字として申し上げられない。全ての路線バスにおいて、乗降センサーという車載のシステムを搭載しており、お客様がどこから乗られてどこで降りられたかというデータは持っている。今回も、それに基づいた計画ということで作成している。具体的な数字については、こちらでもまた追ってお知らせさせていただきたい。
- ・西小針線、有明線等と新潟高校、商業高校などとの関係性については、BRT導入当初は直通ということで残す計画。新潟駅からBRTとしては青山、もう一つは新潟高校、新潟大学方面という形になるが、特に朝、夕のラッシュ時においては、BRTのキャパシティだけでは乗り切れないというデータにもなっているため、一般のバスと併せて輸送していかなければならず、西小針線、有明線については現行どおり残している。

★発言者1（男性）

- ・BRT導入の事業費が13億円。第1期の完成が30億円ということだが、これは我々の税金から出ているのか。どういう形で出ているのか。

○新潟市

- ・第1期暫定開業の段階で13億円。それから、第1期で専用走行路を目指す中で30億円と考えているが、こちらは国から半分くらいの補助をもらい進めるため、税金を使わせていただくということになる。

★発言者1（男性）

- ・今でも市民税は高い。こんなものに使うのなら、我々の市民税を使わないでもらいたい。
- ・ごみ有料化で、私はクリーンにいがた推進員をやっているが、市からの報奨金は、50世帯を3人でやっけて1万円。3人で1年間、1万円でやっけてい

る。このようなものに 30 億円使うのだったら、我々クリーンにいがた推進員に回してもらいたい。我々の方にはたった1万円。我々は月水木金土と週5日やっていてそれだけ。これで黒字になればいいが、赤字になったら我々の税金がまた使われるのではないか。

○新潟市

- ・ お配りしたパンフレットをご覧ください。1 巡目の説明会ではもう少しこのパンフレットよりも細かく説明しているが、表紙にあるように、バスの利用者が減り、バスの運行便数が減るといったことを繰り返す、負の連鎖が現在進んでいるという状況にある。このような中で、これから高齢化社会や環境問題に対応するときに、公共交通の利用者を増やし、持続可能なものにするため、抜本的に交通の実態を変えていかなければならないという状況にきている。
- ・ パンフレットの中面の右側に公設民営方式の説明がある。これは、新潟市などの公共が車両や交通結節点などの施設を整備し、それを運行事業者に貸与する形。運行事業者は初期投資がないため、そこに出てくる力を利用者へのサービスとして提供してもらい、今まで、負の連鎖が続いていたものを抜本的に改善していこうというのが、今回の我々の事業の目的。できる限り集約できるものを集約し、それを郊外にまわし、今まで減ってきたバス路線を強化、拡張していくということで、もう一度利用者を取り戻していく。あるいは新規路線をつくることによって新しいバス利用者を増やしていく。このような中で事業費が必要となってくるが、公共交通というのは、これから絶対に必要になってくる。さらに、高齢社会が進むと、環境を整え、続けるものを続けていく必要があるため、我々としてはこういう形を取らせていただきたい。公設民営という形は、最初の事業費を市が出すという形になるが、それを使って民が運行する。赤字になるとは考えていないが、仮にそうなったとしても、市が負担するということは公設民営方式では考えていない。
- ・ クリーンにいがた推進員のお話は私どもで答えるわけにはいかないので、担当課に伝えていきたい。

★発言者1（男性）

- ・ 新潟県競馬は赤字で税金をつぎ込むためにやめさせた。そうであれば、これも赤字になったらやめさせたらどうか。今、西堀ローサも赤字。プラーカも赤字。しかし継続している。BRT は赤字が見えている。はっきり言えば、我々中央区には利用価値がない。だれが乗るのか。便が悪いのに乗るわけがない。我々白山地区の協議会は乗る人は誰もいない。郊外だけが対象か。

○新潟市

- ・ 先ほどお話があったとおり、まちなかでも団子状態でバスが運行しているというところがある。まちなかのバスの走行性、公共交通の利用実態、運行実態といった課題も、今回、解消していく。まちなかだけではなく、先ほど言ったとおり、郊外も含めて市全体としてバス交通をよくしていこうという考え方でやらせていただいている。今回、バス路線の再編案が新潟交通から出されているが、今日頂いた意見を踏まえ、新潟交通が持ち帰って検討するといったところなので、その辺は皆さんの意見を聞きながら、再度検討してい

く。

★発言者1（男性）

- ・バスレーンの時間帯をしっかりと警察から取り締まってもらって、そこを通さないようにした方が、自然にバスの方に振り向くと思う。別にBRTをやらなくても、バスレーンをきちんとして、警察を立てたり、一般車の乗り入れを1人ではだめ、2人とか3人以上にしたり、そこは通ってはだめですというようにして罰金を取れば、1回罰金を取った方が絶対に乗らないので、こちらの方を強化したほうが早いのではないかと。

○新潟市

- ・バスの優先レーンや専用レーンがあるが、なかなかそれが守られていないというのも現状としてある。新潟交通はいろいろなシステムを持っておられるので、そういったデータも含めて、交通管理者や道路管理者と協議しながら、交通規制をきちんと守っていただけるよう、我々からも取り締まり等強化をお願いしていきたいと考えている。

★発言者2（男性）

- ・新潟大学病院行きの新規路線だが、バスがりゅーとぴあ脇のトンネルを通過すれ違うことに、非常に懸念がある。川端町は道路が狭い。なぜこれを新設する必要があるのか。再三発言でも出ているように、今までは、附船線と入船線、従来の榎谷小路を通る路線、この3本の線によって我々白山校区の人たちは駅から戻ってくる。駅に行くにしてもそれを使っている。川端町の狭いトンネルに、なぜバスを通す必要があるのか。川端町にはマンションはあるけれども、ほとんど自家用車を使っているし、人家もないし、店もほとんどない。非常に使い勝手が悪い。何を根拠にこの線を設定されたのか。新潟大学病院に行くのであれば、それこそBRTを使って市役所で降りた方が近いのではないかと。これは白山校区全体の意見だと思う。

●新潟交通株式会社

- ・今回、計画を作るにあたり、市内のエリアごとの人口密度、人口集積等を見ながら設定した。マイカーを使っている方が多いというお話もあったが、一般的には、やはり半径300メートル以内にバス停がないと、なかなかバスに乗っていただけていないというデータも出ている。そこで、少しでもバスを利用するという部分の利便性も高めたいということで、計画をさせていただきました。
- ・新潟大学病院へは、今現在、市役所前で降りて、そこから坂を上がって新潟大学病院に行かれています。当然、通院の方が多くいらっしゃる中で、いろいろなご要望を頂いている。また、新潟大学病院からもいろいろご要望を頂いている。今、新潟大学病院が工事をしており、前のロータリーの部分も全て工事をして改良する。新潟大学病院に行かれる方の利便性を高めなければいけないというところから、市役所まで歩いていただくのではなくて、ロータリー、病院の玄関までお運びしたいということで設定した。併せて、新潟大学病院は午前中を中心に駐車場が常に飽和状態という状況で、周辺にかなりの渋滞が発生している。こちらもちょうど解消していかねばならないと病

院ともお話をさせていただいた中で、こういう形の計画を作成させていただいた。意見は持ち帰らせていただく。

★発言者2（男性）

- ・それなら、入船線を活用して、それを新潟大学病院行きにしてみようか。川端町は人口が多いかもしれないが、ほとんどがマンション。バスに乗る人はいないと思う。従来の榎谷小路、鍛冶小路、一番堀通の3本で駅から白山校区に乗り込めるといって生かすように考えていただきたい。その3本のいずれかを延長して新潟大学病院に持って行くということを考えて欲しい。川端町を通過して、あの狭いトンネルをバスがくぐって、それこそ大渋滞が起きる。

●新潟交通株式会社

- ・地元の皆さんからのご意見として、持ち帰らせていただく。

★発言者2（男性）

- ・地元の了解を得てほしい。

※ 説明会で出させていただいた意見の他、提出していただいた意見用紙で、以下のようなお意見をいただきました。

○その他

- ・白山地区も御多分にもれず少子高齢化です。年寄りを大事にしてください！

以上